

要旨

本発表では慶尚道の20方言を取り上げ、単純名詞を対象に各方言のアクセント型及び所属語彙を比較した結果を以下のようにまとめた。

(1)長母音系列語以外は、アクセントの対応関係をみるとアクセント型自体が一致するものが多く、非常に単純な対応関係を見せている。

(2)長母音系列語の現れ方によって三つに分けることができる。

(a) 慶州・大邱・漆谷・龜尾・醴泉・榮州・安東・青松・盈徳・陝川・蔚山・蔚陵・居昌

(b) 蔚珍・浦項

(c) 馬山・釜山・密陽・晉州・河東

(3)慶尚道方言は多型アクセントと、N型アクセントかそれに近い体系に二分されている可能性が高い。またN型アクセント方言はアクセント型の合流の仕方によって二つに分けられる。

多型：慶州・大邱・漆谷・醴泉・榮州・安東・青松・盈徳・蔚山・蔚陵・蔚珍・浦項・陝川・密陽

N型：(a) 龜尾・居昌・晉州・河東 (b) 馬山・釜山

(4)所属語彙数は音節数ごとに特定のアクセント型に顕著な片寄りがある。また所属語彙数の比較的少ないアクセント型は、最も優勢なアクセント型へと合流しつつある。